



令和5年度 市の予算と事業



令和5年度の予算概要と主要事業、市の財政状況についてお知らせします。皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

☎ 財政課 ☎022-358-0619

目次

- P 2… 令和5年度一般会計予算の中身を見てみよう
- P 6… 令和5年度に実施する市の主な事業
- P 12… 市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「富谷市総合計画 基本構想 2016～2025」

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

基本方針-1
暮らしを自慢できるまち!

基本方針-2
教育と子育て環境を誇るまち!

基本方針-3
元気と温かい心で支えるまち!

基本方針-4
市民の思いを協働でつくるまち!

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



市の財政状況について — 市の基金（貯金）と市債（借金）

基金(貯金)および市債(借金)の残高は、令和3年度末で、基金が約75億9,668万円、市債が約61億4,297万円となりました。

市民1人当たり換算すると、約14万5,000円の貯金、約11万7,000円の借金となり、類似団体平均と比べると、貯金は同水準である一方で、借金は類似団体が約32万9,890円に対し、富谷市は約11万7,000円と大幅に低く、健全財政を維持しています。

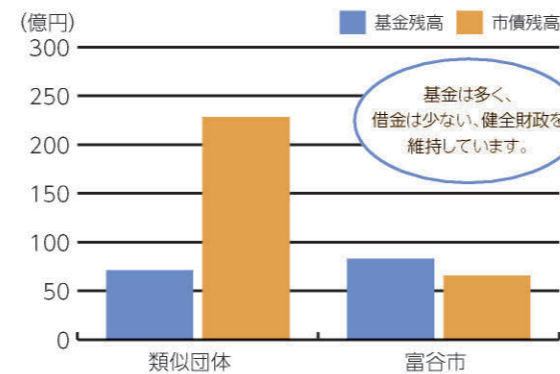
なお、基金は、財政調整基金からの所要額を取り崩していますが、安定的に推移しており、今後も計画的な運用に努めてまいります。

令和5年度市債借入見込額の状況

道路整備事業債は市道の側溝整備や舗装修繕事業などに充てるため、借り入れる予定です。

また、臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借入を予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

類似団体との基金と市債残高の比較(令和3年度決算)



※類似団体については、令和4年8月公表数値となっています。

充当事業	借入額
道路整備事業債	2億9,950万円
河川整備事業債	2,000万円
都市計画事業債	3,820万円
学校教育施設等整備事業債	2,760万円
図書館等複合施設整備事業債	5,240万円
臨時財政対策債	5億4,000万円

令和5年度 主な基金の取り崩し見込額の状況

基金名	取崩額・充当額	令和5年度の充当事業
財政調整基金	5億1,688万円	—
長寿社会福祉基金	371万円	社会福祉協議会補助事業、保健福祉総合支援センター運営事業
森林環境整備基金	283万円	富谷市ビジネス交流ベース運営事業
とみやスイーツ基金	150万円	とみやスイーツ活性化事業
ユーマイタウン施設整備基金	2億5,600万円	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業 図書館等複合施設整備事業

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業・精査を経て、予算案を編成します。

令和4年	
9月上旬	予算編成方針調整期間 国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入(収入)額を見込み、必要な情報を収集
9月下旬	令和5年度予算編成方針決定・発表
10月中旬	予算見積書作成 各部各課において見積書を作成
11月上旬	市長へ各部各課の予算要求内容を説明
12月中旬	第1次査定(企画部長・財政課長査定)
12月下旬	第2次査定(副市長査定) 財政課長から副市長に第1次査定結果の提示

令和5年	
1月中旬	第3次査定(市長査定) ・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 ・基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・令和5年度当初予算案確定(予算書印刷) ・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知
2月下旬	議案審議 ・予算書配布 ・予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置
3月中旬	予算案の議決
4月	新年度予算執行開始

令和5年度 一般会計予算の中身を見てみよう！

どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？



そもそも、予算とは何？

1年（4月から翌年3月）に市へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を決めたものです。予算は市議会の審議と議決によって成立します。

一度決めた予算は、変えられないの？

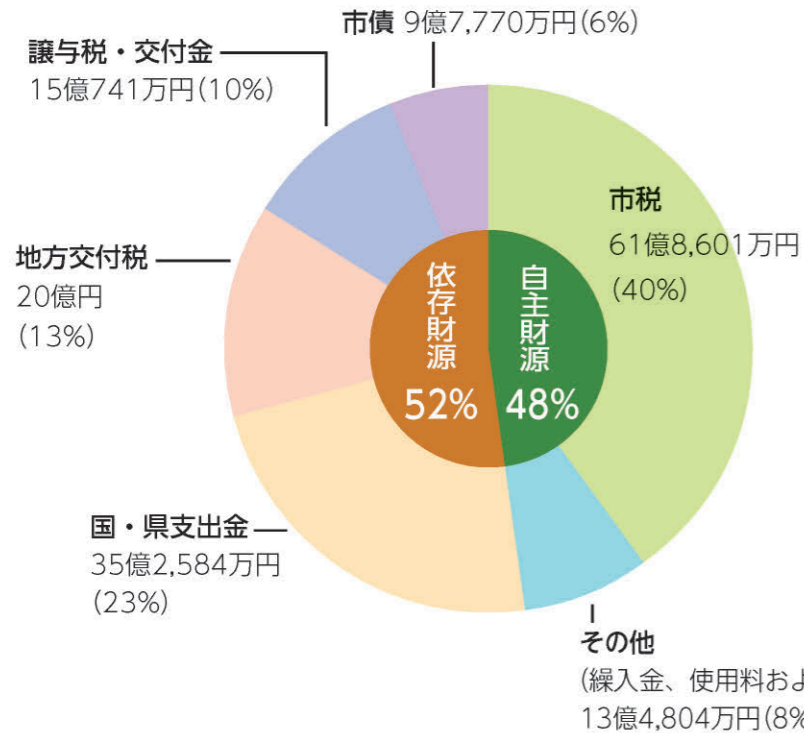
変えられます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに、市議会の審議と議決によって予算の補正を行います。

令和5年度 一般会計当初予算

令和5年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。「子どもにやさしいまちづくり実践予算」として、教育と子育て支援を充実させています。2月21日開会の令和5年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月6日～13日）の集中審議を経て、3月15日に原案可決され成立しました。

155億4,500万円 (令和4年度：150億8,400万円)

歳入(収入) このお金はどこからやってくるの？



自主財源 48%

75億3,405万円

市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金を自主財源といいます。この財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

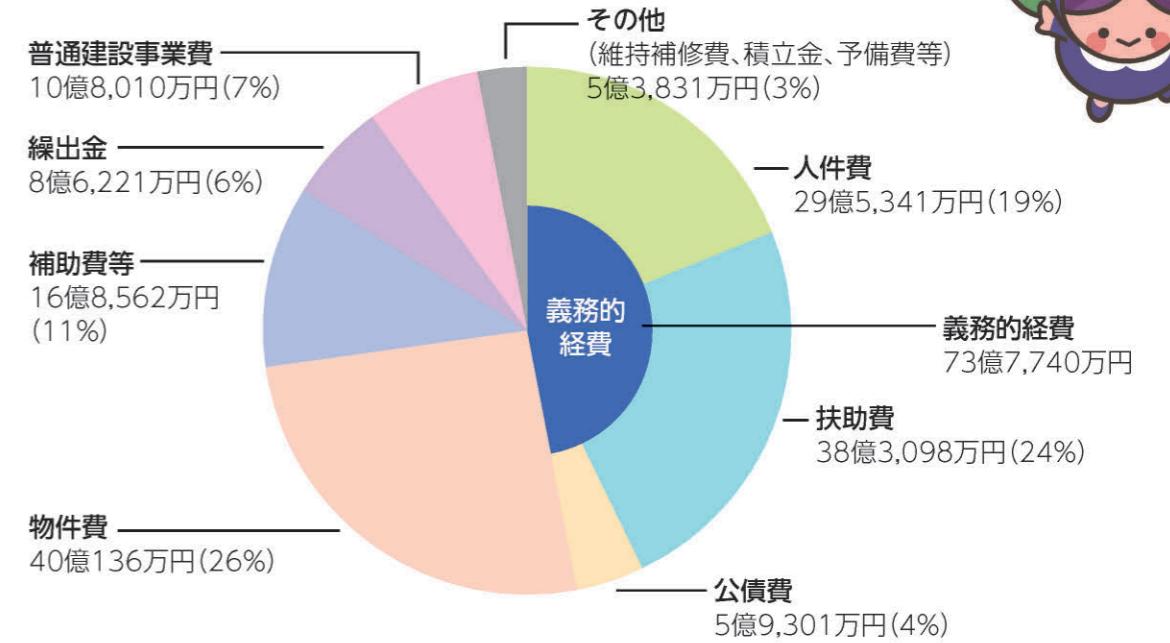
依存財源 52%

80億1,095万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金を依存財源といいます。市債も該当します。

- 市税**：皆さんが、市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 国・県支出金**：国や県が、使い道を決めて交付するお金です。
- 地方交付税**：全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 市債**：市が銀行等から借り入れるお金です。

歳出(支出) このお金は何に使われるの？



- 義務的経費**：人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- 補助費等**：各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。
- 物件費**：委託料、使用料、備品購入費、手数料、需用費、旅費、交際費などの経費です。
- 繰出金**：特別会計等に支出する経費です。
- 普通建設事業費**：公共または公用施設の新増設等に要する経費です。

普段の生活に見立てると...

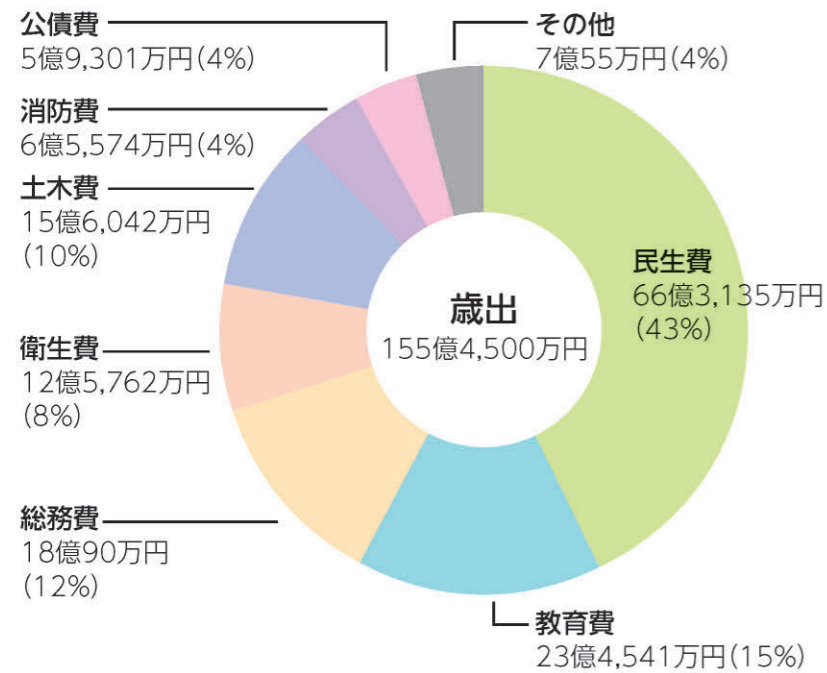
予算を一般家庭(年間収入・支出 565万9,000円*)に見立てると

年間収入	
給料収入(市税)	225万1,955円
パート収入(その他)	75万5,210円
銀行からの借金(市債)	35万5,922円
家族からの援助(地方交付税、国・県支出金)	201万1,627円
貯金取り崩し(繰入金)	28万4,286円
収入計	565万9,000円

年間支出	
生活費(人件費、物件費、予備費等)	288万9,294円
自宅の増築(修繕)費(普通建設事業費、維持補修費)	53万6,860円
子育て費(仕送り・学費等)(扶助費、補助費等)	200万8,264円
ローン返済(公債費)	21万5,880円
貯金(積立金)	8,702円
支出計	565万9,000円

*一般会計予算額を全国家計構造調査における宮城県の平均年間収入 565万9,000円に合わせたもの。

お金の使い道 実際は何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小・中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民1人当たりになると…

民生費
子どもや高齢者、障がい者の福祉などに
126,555円
(119,937円)

教育費
小・中学校、幼稚園など教育のために
44,761円
(41,008円)

総務費
市民バスの運行や交通安全、防犯のために
34,369円
(33,990円)

衛生費
ごみ処理や病気の予防などに
24,001円
(27,894円)

296,666円
(287,347円)
※令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口52,399人で換算しています。
※()内は昨年度の金額です。

土木費
道路や公園などの整備に
29,780円
(28,939円)

消防費
地域の防災や消防団の活動のために
12,514円
(14,083円)

公債費
借金返済に
11,317円
(10,714円)

その他
産業や議会関連経費などに
13,369円
(10,782円)

その他各種会計の予算

そもそも、特別会計とは何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

下水道事業会計や水道事業会計とは何？

下水道事業会計や水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。公営企業である上下水道事業は、独立採算方式を原則とし、料金収入によって維持されています。



◎ 特別会計の予算

会計	当初予算額	主な内容
市営墓地特別会計	3億2,982万円	墓地整備費など
国民健康保険特別会計	43億5,032万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険特別会計	31億4,416万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	4億7,123万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など

◎ 下水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億3,070万円
	支出	11億2,664万円
資本的収支	収入	1億6,747万円
	支出	2億1,768万円

収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
収入は企業債の借入予定額などで、支出は流域下水道建設負担金や企業債の元金償還金など

◎ 水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億3,423万円
	支出	10億2,898万円
資本的収支	収入	1億6,827万円
	支出	3億8,154万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は広域水道用水事業所からの受水費や配水池、配水管および給水装置等にかかる費用など
収入は企業債の借入予定額などで、支出は配水管耐震化工事等の費用や企業債の元金償還金など

昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると…

区分	令和5年度予算額	令和4年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	155億4,500万円	150億8,400万円	4億6,100万円
特別会計	82億9,553万円	76億2,463万円	6億7,090万円
市営墓地特別会計	3億2,982万円	1億7,401万円	1億5,581万円
国民健康保険特別会計	43億5,032万円	39億6,471万円	3億8,561万円
介護保険特別会計	31億4,416万円	30億3,963万円	1億 453万円
後期高齢者医療特別会計	4億7,123万円	4億4,628万円	2,495万円
総計	238億4,053万円	227億 863万円	11億3,190万円

令和5年度一般会計当初予算は、限られた財源を有効活用するため、令和4年度2月補正予算との連動(当初予算事業の前倒し計上)を特に意識した編成を講じ、昨年度から約3%の増額となりました。

区分	令和5年度予算額	令和4年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	66億3,135万円	62億9,598万円	3億3,537万円
教育費	23億4,541万円	21億5,266万円	1億9,275万円
総務費	18億 90万円	17億8,425万円	1,665万円
衛生費	12億5,762万円	14億6,427万円	△2億 665万円
土木費	15億6,042万円	15億1,913万円	4,129万円
消防費	6億5,574万円	7億3,926万円	△8,352万円
公債費	5億9,301万円	5億6,243万円	3,058万円
その他	7億 55万円	5億6,602万円	1億3,453万円

令和5年度に実施する主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

1. 暮らしを自慢できるまち！

(1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

企業誘致事業（産業観光課）……………853万円

企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金・用地取得奨励金制度などの活用や宮城県等との連携により、企業誘致に努め企業の立地を促進し、市の産業振興を図ります。また、誘致企業や地元中小企業の情報交換の場を提供します。

富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業（産業観光課）……………3,051万円

TOMI+を拠点に富谷塾やスタートアップ創出プログラムなどの各フェーズに応じた多様なメニューを提供しながら、起業速度を高める伴走型支援や地域課題の解決につながるビジネスを創出します。

※地方創生推進交付金（25万円）を活用

富谷市ビジネス交流ベース運営事業（産業観光課）※新規……………1,526万円

かつての宿場の要衝であった荷宿を改修し、新たに設置する施設において、ビジネス拠点としんまち地区のにぎわい創出の拠点となるよう、効果的な運営を進めます。



※デジタル田園都市国家構想交付金ほか（1,046万円）を活用

中小企業制度融資事業（産業観光課）……………5,290万円

中小企業者等の経営の安定化と発展を図るため、中小企業振興資金の融資あっせん制度により、融資に係る保証料の補給や支払利息への利子補給を行います。

労働雇用対策事業（産業観光課）……………1,485万円

高齢者の就業機会の拡充と雇用機会の拡大を図ります。また、シルバー人材センターと連携して、「富谷茶復活プロジェクト」に取り組みます。

(2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

とみやはちみつプロジェクト事業（農林振興課）……………131万円

市役所庁舎上での養蜂・採蜜を継続するとともに、養蜂家育成の支援とみつ源拡大を行います。

農作物有害鳥獣等駆除事業（農林振興課）……………890万円

有害鳥獣による農作物の被害防除を図るため、捕獲隊員による巡回、わなの設置、捕獲等を行います。特にイノシシによる農作物被害防除対策として、電気柵購入助成や地域への侵入等を防ぐワイヤーメッシュ柵設置と維持管理の支援をするとともに、ICTを活用した捕獲を行います。

生産調整推進事業（農林振興課）※拡充……………1,275万円

地域水田農業推進協議会が主体となり、生産調整に応じた水田の利活用促進のため、転作物作への支援を拡充し、農業所得及び経営の安定化を図ります。

※経営所得安定対策推進事業費補助金（155万円）を活用

特産品定着推進事業（農林振興課）……………549万円

新特産果樹定着事業として、シャインマスカット・イチジク・ぼろたん栗・ラズベリーを推奨し、苗木等購入助成により生産拡大を目指します。

また、富谷茶復活を目指して、富谷茶の在来種から育苗した茶木を栽培する生産者のほ場整備や栽培技術等への支援を行います。



スイーツのまち推進事業（産業観光課）……………522万円

「スイーツのまち=とみや」として、春と秋にスイーツフェアを開催し、とみやスイーツならびに富谷の魅力をPRします。消費拡大を図るとともにスイーツによるシティブランドの確立を目指します。

富谷宿観光交流ステーション運営事業（産業観光課）……………860万円

本市の偉人内ヶ崎作三郎氏の功績を広く市内外にそして後世に伝える記念館を運営するとともに、歴史的な資源や背景を生かした観光交流の拠点や富谷市まちづくり産業交流プラザと連携した起業・創業の実践・チャレンジの拠点として活用を図ります。なお、管理運営は指定管理者制度により実施し、「とみやど」ににぎわいを創出します。



(3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります 新公共交通システム推進事業

（企画政策課）※拡充……………547万円

「都市・地域総合交通戦略（基本計画）」に基づき、仙台市泉中央駅との基幹公共交通の整備を目的として、これまでの地下鉄整備に加えて、ガイドウェイ・トランジットを含むBRT（バス高速輸送システム）整備のための「次世代都市交通システムの導入可能性調査」を実施します。

市民バス運営事業（企画政策課）……………6,411万円

民間路線バスと連携し、市内における交通不便地域の解消と公共施設などへの移手段の確保のため、市民バスを運行します。

デマンド型交通運行事業（企画政策課）……………1,286万円

市民バスの代替路線となる新たな交通網の形成を目指し、市内の東部区域・北部区域の交通空白地域を対象としたデマンド型交通の運行を行います。

側溝整備事業（都市整備課）……………1億5,100万円

快適で安全な道路交通を確保するため、富ヶ丘・鷹乃杜地区の側溝改修を進め、また、あけの平地区の側溝整備工事計画を新たに策定します。

※緊急自然災害防止対策事業債（1億5,000万円）を活用

都市計画事業（都市計画マスタープラン策定業務）

（都市計画課）……………990万円

都市計画法第18条の2の規定に基づき、本市の都市計画に関する基本的な方針を示す「都市計画マスタープラン（地域別構想）」を策定します。

2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

不登校特例校西成田教室維持管理・運営事業

（教育総務課・学校教育課）……………732万円

誰一人取り残すことのない教育の実現に向けて、不登校特例校西成田教室の維持管理・運営を行います。

市立小学校・中学校維持管理・運営事業

（教育総務課・学校教育課）……………4億4,883万円

小学校8校、中学校5校の施設の維持管理・運営を行います。

※公共施設等適正管理推進事業債ほか（3,077万円）を活用



子育てのための施設等利用給付事業

（教育総務課）……………1億6,809万円

幼児教育・保育の無償化に伴う保育料、預かり保育利用料および副食費についての給付事業を行います。

※子育てのための施設等利用給付交付金ほか（1億2,578万円）を活用

一般公園維持管理事業（都市計画課）……………1億431万円

市民のレクリエーション、コミュニケーションの場として、公園の機能維持・安全確保を図るため、遊具修繕を行います。また、都市公園園路LED交換工事を実施します。

※みやぎ環境交付金（391万円）を活用

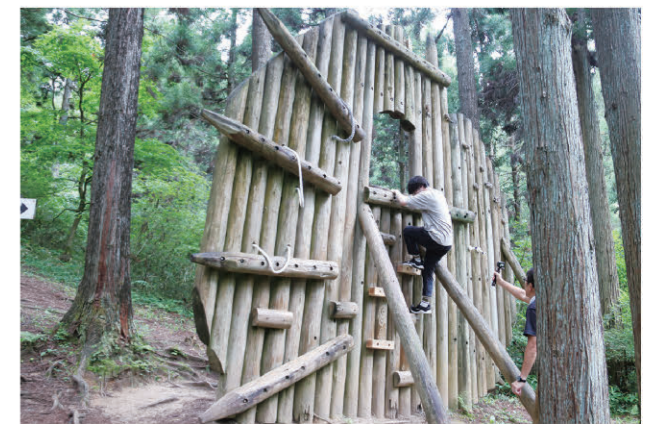
大亀山森林公園維持管理事業

（都市計画課）※拡充……………1億1,755万円

レクリエーション拠点施設として、豊かな自然との調和を図りながら施設の適正な維持管理に努めます。

また、公園施設長寿命化計画に基づき、展望台の減築改修工事を実施し、安心で安全な施設整備を行います。

※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか（8,070万円）を活用



スクールソーシャルワーカー事業

（学校教育課）……………214万円

児童生徒が抱えるさまざまな問題や課題の解決に向け、支援・相談・情報提供を行います。

※スクールソーシャルワーカー事業委託金（195万円）を活用

教育支援センター運営事業

（学校教育課）……………2,002万円

児童・生徒の実情に応じた心サポート機能や学びサポート機能、適応サポート機能等の充実を図り、学校復帰や社会的自立を目指すとともに、不登校特例校西成田教室との連携により、不登校児童生徒の減少を目指します。

※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金（630万円）を活用

外国語指導助手（ALT）活用事業

（学校教育課）……………2,475万円

ALTを小・中学校に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化理解や国際感覚の養成を推進します。

市立小学校・中学校コンピュータ教育事業

(学校教育課) 1億1,272万円

小学校、中学校のICT機器、ソフトウェア、コンテンツの充実を図り、学習環境の整備を推進します。

学校給食センター運営・維持管理事業

(学校教育課学校給食センター) ※拡充 6億106万円

市立学校に安全安心な学校給食を提供するため、学校給食センターを運営・維持管理を行います。

(2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

公民館維持管理事業 (公民館) 1億2,387万円

地域における学習・交流の拠点である公民館の利用が、安全に快適で円滑に行われるように、施設の維持管理・整備を行います。



図書館等複合施設整備事業

(生涯学習課) ※拡充 1億1,877万円

富谷市民図書館・スイーツステーション・児童屋内遊戯施設を複合化した図書館等複合施設整備に向け、実施設計業務を進めます。

※都市構造再編集中支援事業費補助金ほか (1億1,570万円) を活用

総合運動公園運営・維持管理事業

(生涯学習課) ※拡充 8,892万円

本市のスポーツ施設の中核として、誰もが楽しく安全にスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、適切な維持管理を図ります。



(仮称) やすらぎパークとみや整備事業 ※拡充

(生涯学習課-パークゴルフ場分) 2億1,010万円

(都市整備課-河川整備分) 4,524万円

(生活環境課-市営墓地分) 3億2,235万円

令和5年度中に供用開始の市営墓地と令和6年度のパークゴルフ場オープンに向け、整備工事・管理棟建築工事等を実施します。

※みやぎ環境交付金ほか (2億5,417万円) を活用

(3) 伝統と文化を誇れるまちを作ります

民俗ギャラリー運営・維持管理事業

(生涯学習課) 512万円

民俗、考古、歴史資料等の収集や保存、調査を行い、適切な展示や企画展を通じ、郷土を学ぶ場を提供します。

街道まつり運営事業 (産業観光課) 673万円

しんまち地区をメイン会場として、ふるさと富谷への誇りと愛着の醸成、交流人口の拡大を目指し、街道まつりを開催します。

※デジタル田園都市国家構想交付金 (300万円) を活用

(4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

学校給食費無償化

(学校教育課学校給食センター) ※新規 3億3,000万円

子どもにやさしいまちづくりの更なる推進に向けて、市立学校に在籍する児童生徒の学校給食費を完全無償化します。

学校給食費支援事業 (学校教育課) ※新規 655万円

市立学校に在籍で食物アレルギー等による完全弁当対応の児童生徒、私立小中学校等に通学している児童生徒に経済的支援を行います。

(仮称) 地域子どもの居場所づくり支援事業

(子育て支援課) ※新規 115万円

子どもの健やかな育成のため、安心して過ごせる居場所づくりの推進を図ることを目的とし、子ども食堂を開設または運営する団体に補助金を交付します。

保育所運営・維持管理事業

(子育て支援課) ※拡充 2億129万円

市立保育所4所に用務員派遣業務等を新たに実施し、入所する児童の更なる保育環境の整備を図ります。

認可保育所等運営事業

(子育て支援課) ※拡充 13億7,589万円

認可保育所3園や認定こども園6園、小規模保育園5園、新制度に移行した園に対して運営経費を助成します。

※子どものための教育・保育給付費負担金ほか (7億9,380万円) を活用

子ども家庭総合支援拠点事業

(子育て支援課) 1,449万円

ソーシャルワークの基本を担い、全ての子どもやその家庭、妊産婦等を対象に福祉に関する相談・情報提供・助言等を行います。

※児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 (481万円) を活用

子育て支援事業 (子育て支援課) 1,990万円

子育て支援センターとみここを拠点として、子育て講座、離乳食教室、育児相談等のほか、イベント等で親子の交流を行います。



※子ども・子育て支援交付金ほか (1,078万円) を活用

妊産婦支援事業 (子育て支援課) 5,208万円

母子健康手帳交付時からの継続した相談・支援により、産後うつや虐待の予防を目指し、母子が心身共に健康に過ごせる環境を整備します。また、産後ケア事業では、利用回数の増と利用期間の延長等を拡充します。

※母子保健衛生費補助金 (149万円) を活用

感染症予防事業 (子育て支援課) 1億3,602万円

ロタウイルス、麻しん風しん、四種混合、日本脳炎、BCG、Hib、小児肺炎球菌等各種予防接種に対して助成します。

乳幼児健診事業 (子育て支援課) 1,598万円

母子保健法に基づき、乳幼児の発達異常や疾病の早期発見と健康の保持増進を図るため、各種乳幼児健診および保健指導を行います。

※母子保健衛生費補助金 (111万円) を活用

地域子育て支援事業 (子育て支援課) 1,163万円

子育て講座、あかちゃんひろば、あそびのひろば等、親子が参加し交流できる場の提供や、一時預かりなど子育て中の親子をサポートします。

※子ども・子育て支援交付金 (560万円) を活用



病児・病後児保育室運営事業

(子育て支援課) 3,205万円

病児・病後回復期の小学6年生までの児童が、保護者の就労等により、集団保育が困難な場合において、院内施設で一時保育を実施します。

※子ども・子育て支援交付金 (1,261万円) を活用

3. 元気と温かい心で支えるまち！

(1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

高齢者補聴器購入費助成

(長寿福祉課) 300万円

聴力機能低下により日常生活を営むことに支障が生じる高齢者に対し、地域交流および社会とのつながりを保ち認知症やフレイルの進行を緩やかにさせる一助とするため、補聴器購入にかかる費用の一部を助成します。

地域と施設の支え合いモデル事業「とみサポこころね」

(長寿福祉課) 221万円

市内高齢者施設において生涯安心して自分らしく生活できる環境づくりを目指し、令和5年度までのモデル事業として、施設コーディネーター・サポーターによる寄り添いボランティア活動を支援します。

敬老祝い事業 (長寿福祉課) 2,411万円

各町内会の敬老祝い事業に対して、助成を行うとともに各節目の年齢を迎える方へ祝金を支給します。

一般介護予防事業 (長寿福祉課) 161万円

地区の身近な会館等で開催している高齢者の閉じこもり予防や交流の場を推進する「ゆとりすとクラブ・サロン」等を支援します。

国民健康保険税の引き下げ

(健康推進課) ※新規 1,800万円

国民健康保険加入全世帯に対する負担軽減を図るため、現行税率からの軽減を実施します。

子ども医療費助成事業

(子育て支援課) ※拡充 2億8,000万円

0歳から18歳年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療等に係る自己負担額を令和5年10月から完全無償化します。

※乳幼児医療費助成事業補助金 (2,268万円) を活用

乳児見守りおむつ等お届け便事業

(子育て支援課) ※拡充 609万円

0歳児を養育する家庭に、定期的に紙おむつ等を届け経済的な負担の軽減に加え、声かけや見守りの継続と子育て情報の提供等により孤立や不安の解消に努めます。

子育て世帯物価高騰対策支援事業

(子育て支援課) ※新規 3,268万円

物価高騰下における子育て世帯の負担軽減を図るため、未就学児 (0~6歳児) に経済的支援を行います。



新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

(健康推進課) 6,261万円

令和6年3月末まで継続となった新型コロナワクチンの臨時接種において、黒川医師会・黒川3町村と連携を図り、接種体制を維持するために実施します。

住民検診事業 (健康推進課) 1億7,396万円

乳がん、大腸がん、胃がん検診等がん検診や成人歯周疾患検診、脳健診などの住民検診を実施します。

※健康推進事業等補助金ほか (392万円) を活用



感染症予防事業（健康推進課）……………4,232万円

風しんの追加的対策（抗体検査及び予防接種）、高齢者肺炎球菌ワクチンや高齢者インフルエンザワクチン予防接種の助成を実施します。

※感染症予防事業費等補助金（220万円）を活用

健康づくり、食育推進事業（健康推進課）……………164万円

市民の健康維持・増進を図るため、周知啓発や健康講座等を行います。

また、食を通して豊かな心とからだを育むため、食育推進事業を実施します。

※健康推進事業等補助金ほか（43万円）を活用



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

（健康推進課）※新規……………148万円

高齢者の疾病予防・重症化予防とフレイル予防を促すことにより健康寿命の延伸に繋げるため、個別的支援と通いの場への積極的関与を行います。

※宮城県後期高齢者医療広域連合一体的実施委託料（148万円）を活用

(2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

地域生活支援事業（地域福祉課）……………4,811万円

障がい者等が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、市町村等が実施主体となり、地域の特性や利用者の状況に応じて訪問入浴サービス等柔軟な形態により実施します。

※地域生活支援事業補助金ほか（2,431万円）を活用

障害者自立支援給付事業（地域福祉課）…5億1,143万円

障がい者の自立と社会参加への支援等のため、障害者総合支援法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。

※障害者自立支援給付費負担金ほか（3億8,275万円）を活用

高齢者・障がい者交通対策事業

（長寿福祉課）※拡充……………4,043万円

70才以上の高齢者および18才以上の障がい者、60才以上70才未満の運転免許証返納者への外出支援乗車証「とみばす」を交付します。

また、各出張所における入金申請受付システムを構築し、受付体制の充実と更なる利用率向上を図ります。



高齢者・障がい者交通対策事業（重度心身障がい者等自動車燃料費助成事業）※新規

（地域福祉課）……………1,819万円

18歳以上の障がい者への外出支援乗車証「とみばす」の交付のほか、重度の心身障がいがある方等に対し、重度障がい者等福祉タクシー利用券の交付を行います。また、重度の心身障がいがある方に対し、自家用車の燃料費助成を行うことにより外出の機会を確保し日常生活の利便・社会活動範囲の拡大を図ります。

(3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

生活困窮者自立支援促進事業（地域福祉課）…3,397万円

自立相談支援、就労準備支援等、家計改善支援、アウトリーチ支援等、生活困窮者が自立できるよう包括的な支援を行います。

※生活困窮者就労準備支援事業費等補助金ほか（2,400万円）を活用



生活保護扶助事業（地域福祉課）……………1億6,537万円

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長するため、生活保護費を支給します。

※生活保護費負担金（1億2,402万円）を活用

生活保護適正実施推進事業

（地域福祉課）※拡充……………1,836万円

生活保護システムクラウド版への入替及び社会保障・税番号制度システムを整備（医療扶助オンライン資格確認導入事業）し、生活保護業務の適正な実施のための体制整備を行います。

※社会保障・税番号システム整備費等補助金ほか（472万円）を活用

重層的支援体制整備事業移行準備事業

（長寿福祉課）……………1,279万円

属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を開始するため、移行準備として「庁内連携体制構築事業」や「多機関協働事業」等の実施により必要な支援体制の構築を行うもの。

※重層的支援体制整備事業移行準備事業費補助金（959万円）を活用

4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

災害対策総務事務（防災安全課）……………337万円

災害時の情報発信に有効となる安全・安心メールを運用します。

防災啓発事業（防災安全課）……………106万円

各地区の防災訓練時において使用する防災訓練関係用品（炊き出し訓練用無洗米等）を購入します。

防犯設備整備事業（防災安全課）……………341万円

安心安全のまちづくりに資するため、昨年度に引き続き、市内各中学校区に1台ずつ、計5台の防犯カメラを設置します。

※市町村振興総合補助金（100万円）を活用

道路交通安全施設整備事業（都市整備課）…2,822万円

道路の交通安全を確保するため、道路区画線や防護柵などの交通安全施設の整備と維持管理のほか、生活道路や通学路の安全安心を推進するため、ハンブなどの物理的対策を行います。

※道路局所管補助金ほか（950万円）を活用



(2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

ゼロカーボンシティ推進事業

（企画政策課）※拡充……………785万円

啓発事業を継続するとともに、公共施設や市内各地域でのゼロカーボンに向けた取組の指針となる、地球温暖化に対する新たな実行計画の策定に取り組みます。



地域水素サプライチェーン継続実証事業

（企画政策課）……………1,317万円

関係事業者との連携のもと、社会実装に向けた調査・研究を進めます。

※脱炭素な地域水素サプライチェーン構築事業費補助金（800万円）を活用

一般廃棄物収集運搬処理事業

（生活環境課）……………2億6,355万円

生活系一般廃棄物の収集運搬等を委託します。

広報・広聴事業（市長公室）……………1,739万円

毎月発行する広報紙やホームページ、LINE等のSNSを活用し、市政に関する情報発信を行います。また、視覚障がい者等に配慮した広報とみやの音声版を作成します。※県広報配布事務委託金ほか（22万円）を活用

(3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

町内会館整備事業（市民協働課）……………299万円

（仮称）明石台第十会館整備に伴う備品整備を行います。

市民協働推進事業（市民協働課）……………56万円

とみやわくわくミーティングや市民活動交流会を開催し、市民協働の推進を図ります。



移住支援事業

（企画政策課、産業観光課、農林振興課）……………6,862万円

諸条件の下、東京圏から地方へ移住した方へ移住支援金を支給します。あわせて、地域おこし協力隊（産業観光課、農林振興課）を採用し、人口減少対策と地域課題の解決を図ります。

※移住支援事業負担金（459万円）を活用

職員研修事業（総務課）……………450万円

「富谷市人材育成基本方針」に基づき、OJTを人材育成の核とした各種取り組みを実施し、職員の資質の向上を図り、効率的・効果的な行政運営を目指します。



電子申請事業（総務課）※拡充……………568万円

市内公共施設について、オンライン施設予約システムを導入し、住民の利便性向上を図ります。